

保健医療分野における
長崎大学の国際戦略
～ 熱帯医学を中心に～

長崎大学長
片峰 茂



スバ地区コホート



KEMRI



P3施設

アフリカ拠点
 ケニア・ナイロビ市
 ケニア中央医学研究所 (KEMRI) 内
 約300平米、常勤教授2名、
 特任教授1名、
 特任助教3名、常駐職員1名

国際連携研究戦略本部
Center of International Collaborative Research (CICORN)

COE運営
 支援業務

国際業務
 専門職員

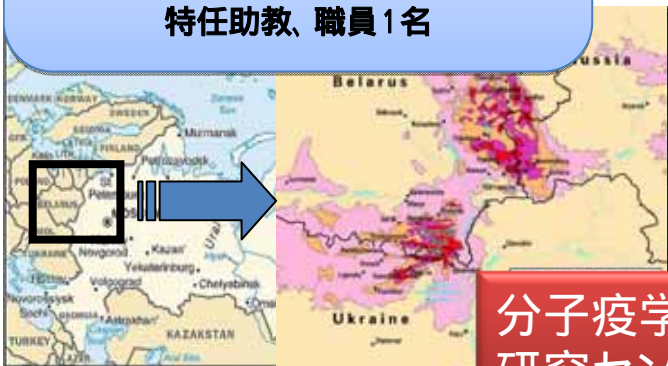


ベラルーシ拠点
 ベラルーシ・ミンスク
 ベラルーシ医科大学教育機構
 ベラルーシ医科大学・ゴメス医科大学
 特任助教、職員1名



共同で疫学調査

ベトナム拠点
 ベトナム・ハノイ市
 国立衛生疫学研究所 (NIHE) 内
 約200平米、常勤教授3名、
 特任教授1名、
 特任准教授1名、助教2名、職員1名



分子疫学
研究センター



NIHE



臨床教育

長崎大学アフリカ拠点(ケニア)

CICORN

歯科学team 林

スバでの歯科検診・
ナイロビ大学

水産資源環境team

ビクトリア湖インド洋開発・
ケニヤッタ大学

寄生虫 team 嶋田・
浜野

住血吸虫・アメーバ
・リーシュマニア

細菌team 一瀬

コレラ・結核・肺炎

マラリア team 平山

撲滅計画・住民参加・
媒介蚊対策

ウイルスteam 森田

黄熱・デング熱・エボラ

DSS team

スバ(mbita)地区5万5千人とクワレ(Kwale)地区5万人
を対象に研究の基盤となる人口静態・動態調査シス
テム(DSS : Demographic Surveillance System)を整備



長崎大学熱帯医学研究所 (Institute of Tropical Medicine)

(沿革)

- 1942 長崎医科大学附属東亞風土病研究所
- 1949 長崎大学附置風土病研究所
- 1967 熱帯医学研究所に改称
- 2009 共同利用・共同研究拠点
「熱帯医学研究拠点」

我が国の保健医療分野(熱帯医学を含む)の国際貢献人材育成

- 自然発生的な個人の資質や志に依拠
- 海外の教育システムへの留学: 国際貢献現場における学位の有用性
(ロンドン大学、リバプール大学、マヒドン大学の熱帯医学校あるいはハーバード大学、ジョンズホプキンス大学等の公衆衛生学部)

“自前の人材育成・教育システムの導入・確立の必要性”

長崎大学の国際保健医療分野 人材育成システム

- | | |
|--------------------------|--------|
| (1) 熱帯医学研修コース (3ヶ月間、15名) | 1978 ~ |
| (2) 大学院博士課程 | |
| ・新興感染症病態制御学専攻 (20名) | 2000 ~ |
| ・放射線医療科学専攻 (10名) | 2002 ~ |
| (3) 大学院修士課程 | |
| ・熱帯医学修士課程 (12名、医師のみ) | 2006 ~ |
| ・国際健康開発研究科 (10名、MPH) | 2008 ~ |
| (4) 医学部AO入試特別枠 | |
| ・国際医療保健 (5名) | 2008 ~ |
| ・熱帯医学研究医 (5名) | 2011 ~ |